

人にやさしい道づくりについて



ゆや 佑哉 3年
号機や点字ブロックを作る
など、高齢者も安全で
安心して暮らせるまちに
するため、人にやさしい
道づくりについて市の考
えをお伺いします。

【質問】僕は、これまで下校中に歩道を自転車ですり抜けていて、段差のところでタイヤがパンクしてしまったりが何度かありました。段差だけではなく、歩道のへこみや壊れているところも、歩行者に危険だと思います。

一番危ないのは、小さい子や高齢者をはじめ、車いすの方だと思っています。そのような方にとって、歩道のへこみは危険ですし、このままだと高齢者の方や車いすの方は、安心して外出できなくなってしまうです。

守谷市の段差はなめらかなスロープ状になっていて、とてもいいなと思いました。しかも、へこみや壊れているところもなく、とても利用しやすい歩道でした。僕の祖父や祖母も「利用しやすい」と言っていました。

このように段差をなめらかなスロープ状にし、高齢者や車いすの方も利用しやすいように改善できないのでしょうか。

他にも、目の不自由な方のた

【答弁】現在、市が管理する道路の長さは約900km。これは、つくばみらい市から広島市までを結ぶ大変長い距離になります。また、歩道の長さは約30kmあります。

市では、道路パトロールを行い道路の壊れている場所を見つけ補修を行っています。すべてを点検することは難しい状況にあり、市民の皆さまの協力も得ながら、破損場所の発見に努めています。中学生の皆さまも、登下校中などで道路や歩道などの危険箇所を発見した際には、ぜひ学校を通じて市役所建設課までご連絡ください。

歩道の段差のスロープ化についてですが、従来の歩道は、歩車道を分離し歩行者の安全を図る考えから、歩道部分を車道より15cm程度高くする「マウントアップ形式」を採用し整備がされてきました。この「マウントアップ形式」は、横断歩道への

接続部に対するスロープが発生したり、車両乗入部のスロープで歩道が狭くなるなど、車いす使用者や視覚障がいのある方には使いにくいこともあります。そこで、平成12年には「交通バリアフリー法」という法律が施行されたことにより、これ以降に整備した道路やこれから計画する道路は、歩道と車道との段差がほとんどない「セミフ

スポーツ施設の充実について



ふみたか 山田 3年
おおよま 大 山 議 員
(伊奈中)

ラット形式」を採用し、高齢者、身体障がい者の方を含め、すべての人にとって、優しい道づくりを進めています。また必要に応じて改修しています。

点字ブロックの設置は、不特定多数の利用者がある施設周辺道路へ必要に応じて設置しています。音響装置付信号機については、状況に応じ警察へ設置を要望していきます。

【質問】市のスポーツ施設は、数が少なく若い人たちが使いにくいと感じています。総合運動公園にはテニスコートがありますが、子どもや若い人たちの利用が少ないうえに現状です。それは、楽しむためにだけにスポーツをするのではなく、技術も身につけてみたいからだと思います。だから僕は、民間のテニスクラブやフィットネスクラブのようにトレーナーやコーチなど指導者体制の整ったスポーツ施設の充実を提案します。

施設の利用料については、で

きるかぎり安くしたスポーツ施設をつくってほしいと思います。もし、このことが実現できれば、子どもや若い人たちは体を動かしながら、楽しんで技術も身につけることができます。高齢者の方は、健康のために利用することができそうです。そうすれば、市民の健康も保たれ、市も活性化していくと思います。また、スポーツは年齢を問わず行えるので、地域の男性、女性、さまざまな年齢の方々の交流の場にもなると思います。現在、市ではスポーツ施設の充実についてどのように考えているか教えてください。

【答弁】市の総合運動公園には、総合体育館と屋外に野球場、テニスコート、ゲートボール場、別棟に研修道場が整備され、さらに、きらくやまふれあいの丘にもテニスコートやゲートボール場が整備されています。その他、古川テニスコートや絹の台桜公園テニスコート、城山運動公園内の野球場などが整備され、年間延べ7万人の方が利用されています。

利用者の年齢については、統計は取っていませんが、子どもから高齢者の方まで幅広く利用していただいています。

今後のスポーツ活動の推進について、県では「茨城県スポーツ振興基本計画」を策定し、2013年までに「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツを」楽しめる地域コミュニティの場として、総合型地域スポーツクラブを、各市町村に1クラブずつ立ち上げる方針です。

これを受け、市として今後も、本年度中にスポーツについての住民アンケートを実施するなど、クラブ設立に向けて準備を進めているところです。

議員のご提案にあるとおり、スポーツ振興については、新たな指導者の育成が非常に重要です。市民の皆さまが多数会員となり、老若男女を問わずスポーツに親しめる環境を整備し、ま